

# 早瀧比咩神社通信

## 裏山と龍石の整備

### お宮裏山の整備

日本には古くから鎮守の森と呼ばれる場所が各地に点在します。神様が降りてくる場所とも言われています。古人は鎮守の森が元気であれば神様が来てくれるが、人々が世話をせず森が荒れると来てくれなくなると考え守ってきました。神社の風致を維持することや修理や改修の用材確保の目的もあったようです。ご存じのように滝地区にも早瀧比咩神社を取り巻く



手入れ前の裏山梅林

森があります。お宮は大きなスギ、ヒノキ、マツ、クス、サクラ、カシ、ホ

ウ、カクレミノ、フウ、サカキ、シヤシヤキ、サツキ、ツツジ、モミジ、ヤマモモ、ツバキ、ウメ

早瀧自然公園は岩の公園ともいえる奇岩。巨岩の多いところ。龍石と呼ばれる大岩は早瀧比咩神社石鳥居をくぐる左側にある最も身近にある巨岩です。公園案内看板から旧県道62号線(由加山参道)を右に

### 早瀧自然公園奇岩のガイド

すすみ「素戔鳴神社」と「早瀧比咩神社」の間を通り滝川沿いに進むと正面に「一の滝」「二の滝」「三の滝」があります。左折し、ヘアピンカーブを右折、少し先の左手の足場を頼りに少し登ると「天狗の足跡」と呼ばれる奇岩を見ることが出来ます。右側の滝川を挟んで

発行所：早瀧比咩神社  
総代会 玉野市滝773番地  
不定期発行  
編集：葛原

など種々な木々に囲まれています。今では考えられませんが、お宮の裏山や現在の梅林にもアカマ



桧大木の枝打ち作業中

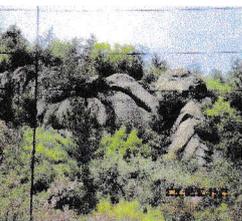
ツが群生し松茸の収穫もありました。しかし鎮守の森も手入れを怠ると神社を覆い木枝などで建物や屋根が傷む原因となります。

か山の中腹に「恵比寿岩・大黒岩」が並んで見守られています。右手下方の赤橋を渡ると大岩に乗った形



天狗の足跡

で建立された「龍神社(龍王宮)」があります。現在の乙女が一の滝の清流を水鏡にして髪をすき整えたといわれる「髪すき岩」や「陰陽の岩」が目につきます。



左：大黒・右：恵比寿

4月9日午前8時から、役員数名で境内の裏山や付近に自生の大木と雑木の伐採を行いました。作



大木伐採後の梅林

後、ワイヤーで意図する方向に引つ張り植林されている梅や枝を一本も傷つけることなく倒すのを見て感心しました。これにより梅林への陽当たり時間も増し、梅の収穫も増えるでしょう。

### 龍石の整備

早瀧比咩神社の参道左手に座する龍石の整備を行いました。久しく手入れをしていなかったこと



以前の鳥居龍岩付近

から雑木、雑草が茂り、どこまでが岩でどこまでが山なのか見分けがつかない。現在の橋の下には大きな石橋が見えます。これは熊蔵橋と呼ばれ、その昔大変力持ちの熊蔵さんが一人での



お宮裏山の巨岩

橋をかけたと伝えられています。これら以外にも「天狗の足跡」の左上後方には「談合岩」さらに先には、鳥居付近からも確認できる「合岩」が立っています。



「令岩」と名づけ!!



雑木・雑草除去作業中

ず、大きいという実感が湧かなかつたと思います。4月21日から二週間かけて役員や有志など数名で龍石の雑木や雑草の取り除き作業に取り掛かりました。岩の高さは十数メートルあり雑木一本切



姿を現した龍岩

ロープ掛けして降ろすハブニングも加わり、朝から夕方まで途中休憩を挟みながらのハードな作業でした。密集するヒトツバの根が岩の割れ目に食い込み、絡みついて足場の悪い中で除去に思わぬ時間がかかりました。5月2日夕方作業終了後、ゴリラの頭そっくりの龍岩が現れ、参加者一同その付近の景観に見とれ、達成感を味わいました。

### あとがき

本号はいつもと趣きを変えてお宮を取り巻く風致維持の作業の様子と裏話を取り上げてみました。地元の皆様には神社参詣の際に変貌した龍岩や散歩がてら先輩達が残してくれた早瀧自然公園まで足をのびられたら如何でしょうか。(編集士)